

産学官金連携フォーラム

参加費
無料

「東北Society5.0 を考える」シリーズ (第2回)

平成30年9月13日木

14時00分～16時30分

定員100名程度

2月に仙台市で開催した東北活性研・産学官金連携フォーラム(第1回)では、IoTやAIなど進展著しい先端デジタル技術のイノベーション動向や、こうした技術の社会実装に向けた国内外の取組み事例を紹介し、人口減少下にある東北地域の未来創生のあり方を探る機会を提供しました。これを踏まえ、本フォーラム(第2回)では、産学官金の連

携体制を構築し、地域課題と各大学がもつ研究成果を融合し新たな産業を創出しようとする動きをうかがうと共に、東北を舞台にいち早くIoT、AI等の先端技術を取り入れたユニークな取組み事例を紹介し、社会課題を解決する新ビジネス開発の動きを東北で活性化していくためのヒントを探ってまいります。

場所

ホテルレオパレス仙台 地下1階イベントホール
仙台市宮城野区榴岡4丁目6-28

申込
締切日

9月3日(月)まで 裏面参加申込書の必要事項を参考に、Eメール(メール件名:活性研フォーラム)で送信してください。※FAX又は郵送でも可。

プログラム

開会挨拶

公益財団法人東北活性化研究センター 会長 海輪 誠

講演

「東北地域の活性化に向けた取組み」

～山形大学EDGE-NEXT活動&みちのくイノベーション・キャンプ～

講師：国立大学法人山形大学 国際事業化研究センター センター長 小野寺 忠 司氏

事例紹介

①国立大学法人東北大学 情報知能システム研究センター (IIS) の産学官連携による取組み事例
水産加工業への応用事例／スマート農業導入実証事例／
スマートファクトリー向けIoTセンサー応用事例等

国立大学法人東北大学大学院工学研究科 情報知能システム研究センター

特任教授 鹿野 満氏

②山形大学 国際事業化研究センターの取組み事例

スリーアイズ事業紹介と、人口知能の事業活用のポイント

株式会社スリーアイズ 代表 牧之内 隆 大氏

③Society5.0に向けたIoT共創基盤の必要性和真の官民協働に向けて

仙台市 経済局 産業政策部 産業振興課長 白岩 靖 史氏

閉会挨拶

国立大学法人東北大学 産学連携機構 地域イノベーション推進部長

特任教授 上島 敦

■主 催
■後援(予定)

公益財団法人東北活性化研究センター、国立大学法人東北大学、国立大学法人山形大学
東北経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部、国立研究開発法人産業技術総合研究所
東北センター、仙台市、一般社団法人東北経済連合会、株式会社日本政策投資銀行東北支店、公益財団
法人みやぎ産業振興機構、公益財団法人仙台市産業振興事業団、一般社団法人みやぎ工業会、仙台商工
会議所、山形商工会議所

「東北Society5.0を考える」シリーズ(第2回) 参加申込書

締切：平成30年9月3日(月)

〈申込者連絡先〉

■企業・団体名：

■担当者職・氏名(ふりがな)：

■電話番号：

■E-mail：

参加申込書

E-mail

chisan-2@kasseiken.jp

Fax

022-225-0082

所属	役職	氏名

■アクセスマップ

会場：ホテルレオパレス仙台
(仙台駅東口より徒歩5分)

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡4丁目6-28
TEL022-706-0001 FAX022-706-0002
仙台市地下鉄東西線宮城野通駅 南1出口の正面にございます。



お問合せ ● 公益財団法人東北活性化研究センター

〒980-0021 仙台市青葉区中央二丁目9番10号(セントレ東北9F)

■担当：地域・産業振興部 加川・橋本 ■Tel.022-222-3357 ■Fax.022-225-0082 ■E-mail.chisan-2@kasseiken.jp